

## 動 産 り 災 申 告 書 記 載 要 領

### (1の欄)

り災物件と申告者との関係は、当てはまるものを○で囲んでください。

### (3の欄)

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、全て記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

### (4の欄)

- 1 品名・数量の欄は、動産の品名ごとに数量を記入してください。  
例) 背広3、くつ類30、下着類50、食器類150、本300、化粧品80等
- 2 り災別の欄は、当てはまるものを○で囲んでください。
  - ・ 焼 損：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、熔融、破損したものなど
  - ・ 爆 発：爆発により、壊れたものなど
  - ・ その他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出すときに壊れたものなど
- 3 損害見積額又は購入時価格の欄は、り災した物件の使用年数等を考慮して、被害の程度により損害額を見積もり、点線の左欄に記入してください。  
また、損害額が見積もれない場合は、点線の右欄に購入時の価格と（使用 年）内に使用年数を記入してください。  
なお、使用年数は整数とし、1年未満の端数は切り捨てとします。

### 備 考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、動産のあった建物ごと、世帯ごとに提出してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 6 この申告書で分からないことがありましたら、大島町消防本部警防係までご連絡ください。

大島町消防本部警防係  
電 話 04992-2-0119

# 記入例

り災した世帯ごとに提出してください。  
ボールペンで記入してください。

申告書を提出する日 令和 3年 4月 5日

大島町消防本部消防長 殿

住所 東京都大島町元町字北の山〇× - 〇△

申告者 職業(職) 会社員 電話 04992-〇-〇×△〇

氏名 大島 太郎

押印の必要はありません

所有者：持ち主  
管理者：管理会社等  
占有者：賃借人

火災があった日

## 動産り災申告書

1	り災年月日	令和3年4月1日	り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者
	り災場所	東京都大島町元町字北の山〇〇 - ×△		

2	世帯	氏名	続柄	年齢	性別	氏名	続柄	年齢	性別
		大島 太郎	本人	45歳	男				
		大島 花子	妻	42歳	女				
				歳	男・女				

加入している火災保険  
全てについて記入して  
ください。

本人を含め全ての世帯人員に  
ついて記入してください。

3	契約会社名	契約年月	保険金額(万円)
	大島〇△損保(株)	平成2年4月	不明

品名ごとに数量を記入し  
てください。

分からない場合は「不明」と記入してください。

4	品名	数量	り災別	損害見積額 又は 購入時価格(円)	
				点線の左枠	点線の右枠
	(例) ベッド	2	焼損・爆発・その他	200,000	(使用 5年)
	(例) スーツ	8	焼損・爆発・その他	240,000	(使用 年)
	ノートパソコン	1	焼損・爆発・その他	140,000	(使用 2年)
	こたつ	1	焼損・爆発・その他	15,000	(使用 5年)
	ベッド	1	焼損・爆発・その他	50,000	(使用 5年)
	布団	1式	焼損・爆発・その他	20,000	(使用 5年)
	絨毯	1	焼損・爆発・その他	30,000	(使用 5年)
	衣装ケース	2	焼損・爆発・その他	8,000	(使用 5年)
	衣類	10	焼損・爆発・その他	5,000	(使用 年)

誤記は二重線で訂正  
してください。

焼：物が燃えた場合  
爆：爆発により壊れた場合  
他：消火により濡れたものや  
火災の煙により汚れた場合

損害見積額又は購入時価格を記入  
点線の左枠：使用年数と被害の程度を考慮し、損害額を  
見積もり記入してください。  
点線の右枠：見積もりができない場合は購入時の価格と  
使用年数を記入してください。(使用期間  
は1年未満を切り捨て整数で記入)